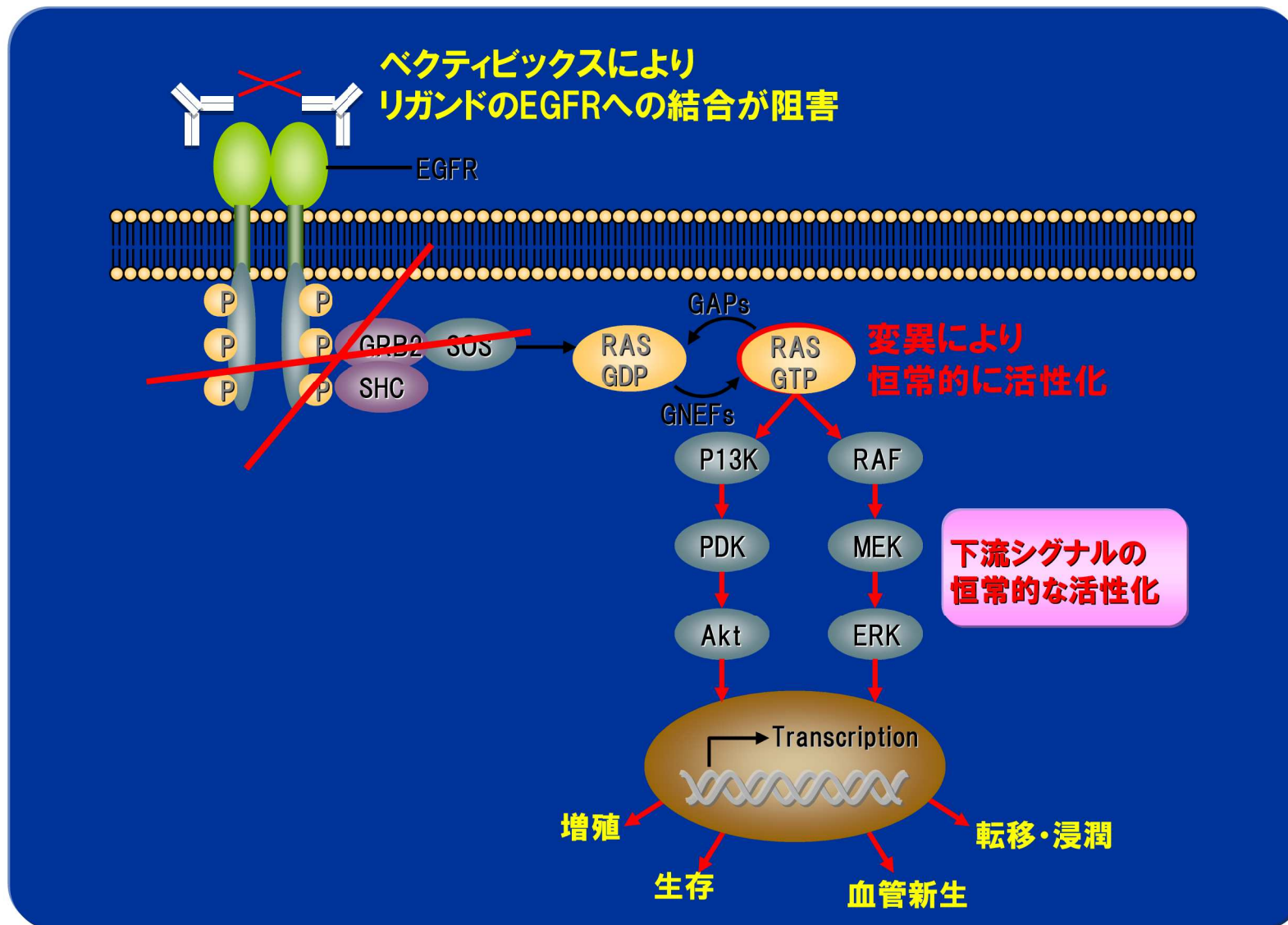


KRAS遺伝子変異がみられる症例では、  
ベクティビクスにより、リガンドのEGFRへの結合を競合的に  
阻害しても、治療の効果が期待できない。

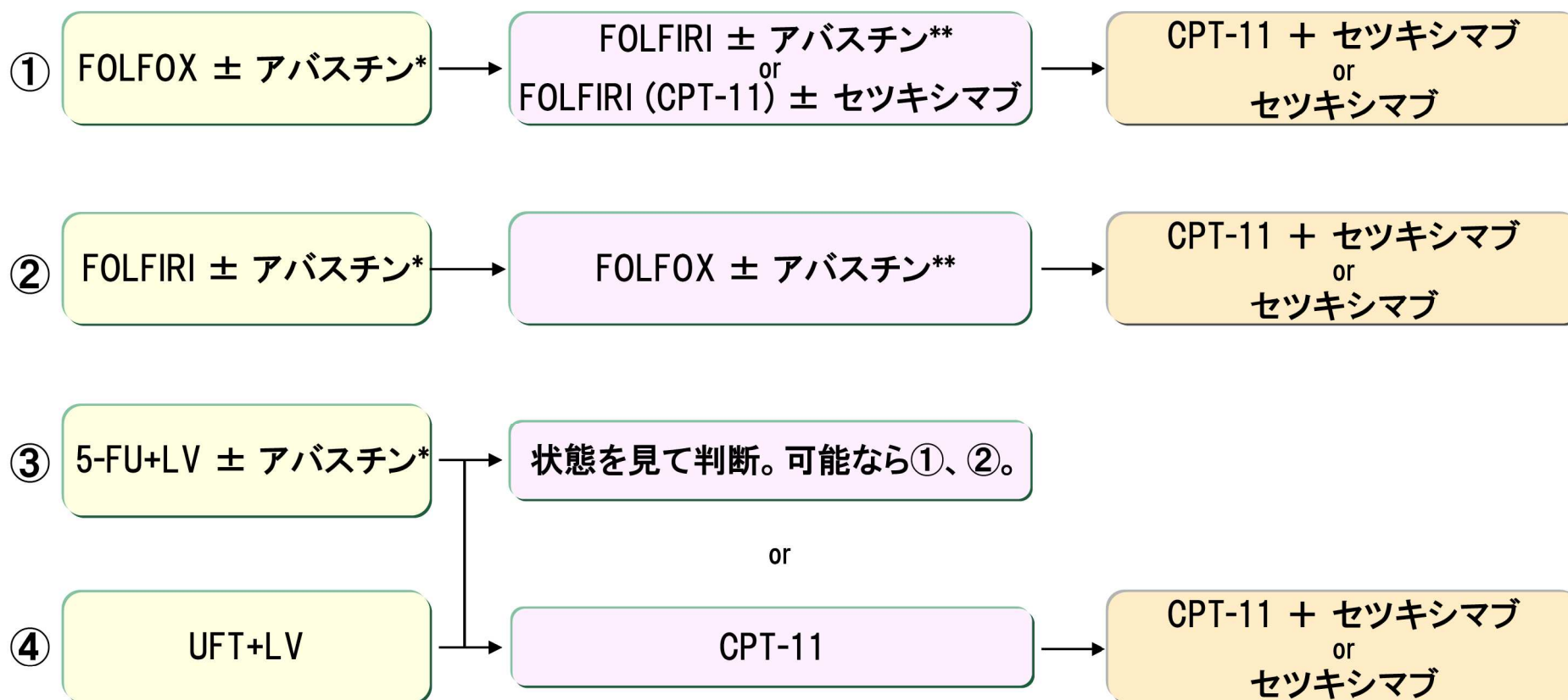


# 切除不能進行再発大腸癌に対する化学療法 大腸癌治療ガイドライン2009年版

<一次治療>

<二次治療>

<三次治療>



\* アバスチンの投与が推奨されるが、投与不可能と判断した場合はその限りではない。

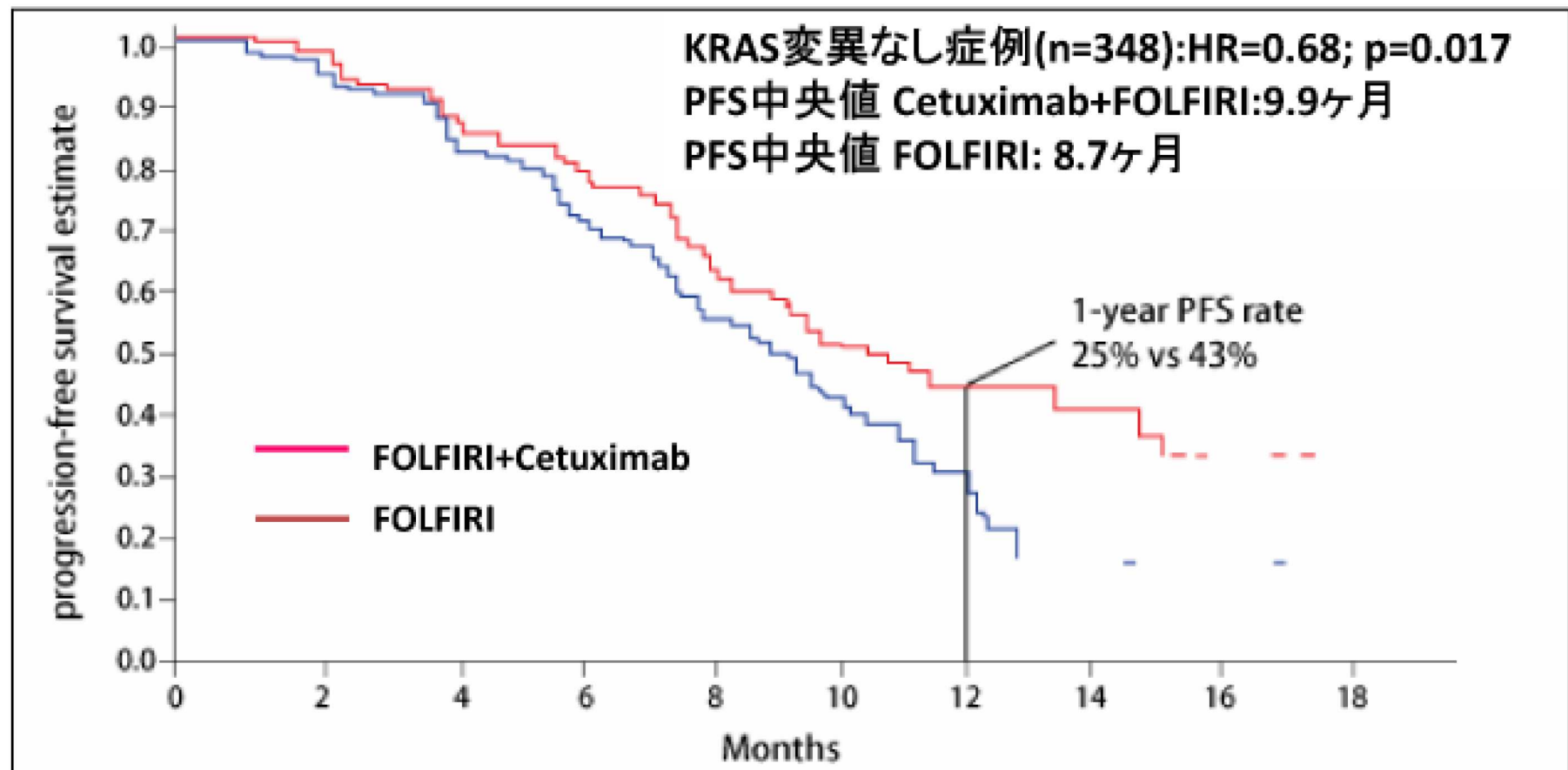
\*\* 一次治療においてアバスチンを投与していない場合、および一次治療の効果が持続しているがCPT-11やL-OHPの毒性のために投与を中止した場合は、二次治療でアバスチンの投与が推奨される。

## CRYSTAL trial

–First-line FOLFIRI+ Cetuximab–

- KRAS遺伝子変異と効果の関連

主要評価項目: PFS – KRAS遺伝子変異なし



# CRYSTAL trial

## -First-line FOLFIRI+ Cetuximab-

- KRAS遺伝子変異と効果の関連  
主要評価項目: PFS – KRAS遺伝子変異あり

